

## ジャマイカ：市民殺害で警官 6 人を起訴

2003 年、保釈中の友人に付き添った警察署からの帰り道に警官に射殺されたマシュー・リーさんの殺人事件で、犯行に関与したとされる警官 6 人が、ようやく起訴されました。捜査機関を監視する独立捜査委員会が、発表しました。同委員会は、2013 年から 6 年半もの年月をかけて独自に捜査し、容疑を固めて、訴追に踏み切りました。

アムネスティは、この執念の捜査を高く評価するとともに、裁判所には、厳正な審理を期待します。真相究明と加害者の処罰は、亡き息子への正義を求めてきた遺族の強い願いであり、警官が市民を殺しても罪を問われない風潮に風穴を開けてくれます。

遺族の 1 人は、「マシューは戻ってこない。でも、真相究明と犯人の処罰はずっと待っていた。この機会に、警察は、もっと責任感を持ってやってほしい」と話しています。

マシューさんの裁判で、1 日も早く遺族への正義が果たされることを祈るばかりです。

## ウルグアイ、エスカス条約を批准

ウルグアイ議会は、エスカス条約の批准を認める法律を可決しました。手続きが完了するとウルグアイは、3 カ国目の条約批准国になります。

エスカス条約は、ラテンアメリカ・カリブ地域の個人やグループに対して、環境分野の情報の入手、意思決定への参加、司法の利用などの権利の保障を加盟国に義務付ける地域条約です。同地域の 1 国でも多くの国が、この条約を署名・批准し、環境をめぐる人権の保護に取り組むことが求められます。

これまで、環境保護の活動をする人たちが、不当な告発を受けたり、暴力や殺害に巻き込まれたりする事件が、後を絶ちませんでした。彼らが身の危険を感じることなく活動することは、私たちの貴重な自然を守ることにもつながります。その意味でも、条約の発効は大きな意味を持ちます。

署名国数は、7 月に第 17 カ国になりましたが、条約の発効には、2020 年 9 月末までに 11 カ国以上の批准が必要です。

アムネスティの支部や提携団体があるラテンアメリカ・カリブ地域の国々では、9 月から 12 月までの 4 カ月間、関係各国にエスカス条約の批准を求めるキャンペーンをしています。また、12 月初旬、チリで第 25 回国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP25）が開催されますが、この会議に合わせた活動も予定しています。

## インド：続く活動家の不当な拘禁

人権擁護活動家の摘発を強化するインドで昨年、名だたる活動家 9 人が逮捕され、非合法活動禁止法違反で起訴されました。政府はその後も、活動家を中傷する作戦を各地で展開しました。「非国民」呼ばわりもしました。

しかし、町の人たちの声は、まったく違います。逮捕された 9 人は、多くの市民にとって貧しい市民の権利のために活動するヒーローなのです。

アムネスティは、この市民の声を後押しするために、政府に対し、9 人の釈放に向けた働きかけをします。

ぜひ、皆さんもツイッターで声をあげてください。1 人でも多くの方の参加をお願いします。

ハッシュタグ：#FreeBK9

メッセージ：

Strong leaders recognise bravery when they see it

Acknowledge their own faults

And find ways to correct them.

Strong leaders don't bully human rights activists.



@Amnesty International

## キプロス：アハメド・Hさんに帰国許可を

日本支部の記事やアクションで数度、取り上げたアハメド・Hさんは、今もハンガリーから家族が待つキプロスに帰国することができません。

シリア生まれのアハメドさんは4年ほど前、キプロスの家族を残して紛争下のシリアに入り、両親らを連れ出してヨーロッパの安全な地を目指しました。ハンガリーに入ろうとしたとき、難民と警察との衝突に巻き込まれて拘束され、その後、テロ共謀罪で有罪を言い渡されます。今年1月に条件付きで釈放されましたが、難民キャンプから出ることは認められていません。キプロス政府は、受け入れを拒んでいるため、国籍があるシリアに強制送還されるおそれがあります。

アムネスティは、6月末からキプロス政府に対し、アハメド・Hさんの帰国とキプロスの自宅への帰宅を認める働きかけをしてきましたが、状況は変わっていません。

そこで今後集中的に、キプロス政府への働きかけをします。アハメド・Hさんが4年もの間、会っていない長女が10才になる10月14日の誕生日に合わせて、活動期限を10月14日とします。

キプロス内務大臣にアハメド・Hさんの帰国許可を求めるメールを送ってください。10月14日までです。1人でも多くのみなさんご参加をお願いします。

Minister Constantinos Petrides  
Ministry of Interior  
Email: dktorides@moi.gov.cy

Dear Minister,

I call on you to take all necessary measures to allow Ahmed H. to return to Cyprus promptly and be finally reunited with his family.

Yours sincerely,

## ホンジュラス：環境活動家殺害事件の裁判

環境活動家ベルタ・カセレスさん殺害への関与が問われている電力会社CEOの裁判で、検察庁は8月9日、予備審問を再開すると発表しました。

カセレスさんは、2016年3月に自宅にいたところを何者かに襲われ、命を奪われました。その後、捜査が一向に進まず、他の活動家たちは不安な日々を送ってきました。実際、事件以降、先住民族協議会の活動家ら数人が、嫌がらせや脅迫を受けてきました。

2017年末、ようやく容疑者が特定され、裁判が始まりましたが、被告側が専門家の意見書を提出したことを受け、昨年4月から審理が中断していました。

予備審問の目的は、正式な裁判に先立って、当該案件を審理するに足る証拠があるか否かを判断することです。明らかな証拠があれば、裁判が始まります。1日も早い裁判の開始と加害者の処罰を期待しましょう。



@Amnesty International

## UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本